

2021年6月11日現在

ISBN978-4-426-61125-5

## まんがでわかる簿記のツボ 日商簿記3級 テキスト&問題集

### 訂正のお知らせとお詫び

この度は、弊社書籍をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本書の記述内容に以下のような訂正事項がございました。お詫びして訂正申し上げます。

なお、発行年月日により対象となる訂正箇所が異なる場合がございますので、お手元の書籍の奥付で発行年月日をご確認のうえ、訂正していただきますようお願いいたします。

■「初版 第1刷（2019年6月28日）」をお持ちの方

該当頁	該当箇所	誤り	正	訂正日																								
P.156 下部	● (B) の取引 の各勘定科目の 借方・貸方双方 の合計額と月末 合計額の算出	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>当座預 金</th> <th>売掛金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27日合 計額</td> <td>12,000</td> <td><u>75,000</u></td> </tr> <tr> <td>借方計</td> <td>25,000</td> <td>8,000</td> </tr> <tr> <td>月末合 計額</td> <td>145,000</td> <td><u>83,000</u></td> </tr> </tbody> </table>		当座預 金	売掛金	27日合 計額	12,000	<u>75,000</u>	借方計	25,000	8,000	月末合 計額	145,000	<u>83,000</u>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>当座預 金</th> <th>売掛金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27日合 計額</td> <td>12,000</td> <td><u>85,000</u></td> </tr> <tr> <td>借方計</td> <td>25,000</td> <td>8,000</td> </tr> <tr> <td>月末合 計額</td> <td>145,000</td> <td><u>93,000</u></td> </tr> </tbody> </table>		当座預 金	売掛金	27日合 計額	12,000	<u>85,000</u>	借方計	25,000	8,000	月末合 計額	145,000	<u>93,000</u>	2019.10.26
	当座預 金	売掛金																										
27日合 計額	12,000	<u>75,000</u>																										
借方計	25,000	8,000																										
月末合 計額	145,000	<u>83,000</u>																										
	当座預 金	売掛金																										
27日合 計額	12,000	<u>85,000</u>																										
借方計	25,000	8,000																										
月末合 計額	145,000	<u>93,000</u>																										
P.245	第5問 解答	別紙参照		2019.10.26																								
P.247	下から7行目～	<p>損益計算書の貸方合計（収益） ¥4,372,500 と借方合計（費用） ¥4,016,300 の差額により、 当期純利益 ¥356,200 を計算し、 借方に記入する。</p> <p>続けて、当期純利益 ¥356,200 を貸借対照表の貸方へ移記し、 貸借の合計が ¥5,037,500 で一 致することを確認する。</p> $\begin{aligned} & ¥4,372,500 - 4,016,300 \\ & = \underline{¥356,200} \end{aligned}$	<p>損益計算書の貸方合計（収 益） ¥4,072,500 と借方合計 （費用） ¥4,016,300 の差額に より、当期純利益 ¥ <u>56,200</u> を計算し、借方に記入する。</p> <p>続けて、当期純利益 ¥ <u>56,200</u> を貸借対照表の貸 方へ移記し、貸借の合計が ¥5,037,500 で一致すること を確認する。</p> $\begin{aligned} & ¥4,072,500 - 4,016,300 \\ & = \underline{¥56,200} \end{aligned}$	2019.10.26																								

P.103	3～4行目	(現金 当座預金 貸付金…)	( <u>売上</u> 現金 当座預金 貸付金…)	2020.1.24				
P.146～ P.148	合計試算表 残高試算表 合計残高試算表	別紙参照		2020.1.24				
別冊 章末問 題解答 用紙 P.9	下段 貸借対照表 「資産」の列 下から3行目	<table border="1"> <tr> <td>未 収 <u>収 益</u></td> </tr> <tr> <td><u>建</u> 物</td> </tr> </table>	未 収 <u>収 益</u>	<u>建</u> 物	<table border="1"> <tr> <td>未 収 <u>利 息</u></td> </tr> <tr> <td><u>備</u> 品</td> </tr> </table>	未 収 <u>利 息</u>	<u>備</u> 品	2020.1.24
未 収 <u>収 益</u>								
<u>建</u> 物								
未 収 <u>利 息</u>								
<u>備</u> 品								
別冊 模試問 題解答 用紙 P.8	「勘定科目」の 列 下から4行目	<u>支払費用</u>	<u>未払費用</u>	2021.6.11				

## 第5問(30点) 各3点×10

解答

## 精算表

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	1,030,000						1,030,000	
現金過不足	35,000			35,000				
当座預金	1,550,000						1,550,000	
受取手形	470,000						470,000	
売掛金	570,000			30,000			540,000	③
仮払法人税等	45,000			45,000				
繰越商品	370,000		400,000	370,000			400,000	
貸付金	500,000						500,000	
備品	500,000						500,000	
備品減価償却累計額		300,000		100,000				400,000
支払手形		306,000						306,000
買掛金		500,000						500,000
仮受金		30,000	30,000					
借入金		300,000						300,000
貸倒引当金		7,000		23,300				30,300
資本金		3,000,000						3,000,000
繰越利益剰余金		352,000						352,000
売上		4,050,000				4,050,000		
受取利息		20,000		2,500		22,500		
仕入	2,960,000		370,000	400,000	2,930,000			③
給料	550,000				550,000			
支払家賃	160,000			36,000	124,000			③
租税公課	100,000			9,000	91,000			
支払利息	25,000				25,000			
	8,865,000	8,865,000						
雑(損)			35,000		35,000			③
貸倒引当金繰入			23,300		23,300			③
減価償却費			100,000		100,000			
貯蔵品			9,000				9,000	③
(前払)家賃			36,000				36,000	
(未収)利息			2,500				2,500	③
法定福利費			33,000		33,000			③
未払費用				33,000				33,000
法人税等			105,000		105,000			③
未払法人税等				60,000				60,000
当期純(利益)					56,200			56,200 ③
			1,143,800	1,143,800	4,072,500	4,072,500	5,037,500	5,037,500

## ● 合計試算表の作成方法

- 手順①** 勘定科目ごとに借方と貸方それぞれの合計金額を求めます。  
**手順②** 合計金額を各勘定科目の借方、貸方の欄にそれぞれ記入します。  
**手順③** 借方、貸方それぞれの総合計金額を合計欄に記入します。

### 合計試算表

□□年4月30日

現金		借方	勘定科目	貸方	当座預金	
65,000	50,000				65,000	現金
① 10,000+5,000+50,000 = 65,000 (借方)		15,000	当座預金	10,000	① 65,000   40,000 20,000 + 45,000 = 65,000 (借方)	
20,000 + 30,000 = 50,000 (貸方)		65,000	売掛金	40,000	25,000 + 15,000 = 40,000 (貸方)	
電子記録債権		25,000	電子記録債権		① 買掛金	
25,000		30,000	買掛金	30,000	30,000   30,000	
仕入			借入金	50,000	借入金	
30,000			資本金	10,000	50,000	
給料		30,000	売上	70,000	① 資本金	
20,000		20,000	仕入		10,000	
支払利息		10,000	給料		① 売上	
10,000			支払利息		70,000	
		260,000		260,000	5,000+20,000+45,000 = 70,000 (貸方)	

③ ← 一致する → ③

すべての勘定について、合計金額を記入し、総合計金額を計算したら、借方と貸方の総合計金額を比較します。間違いがなければ、**両方の総合計金額は一致**します。逆に総合計金額が一致しない場合は、計算ミスか記帳ミスがあるということです。再計算しても合わない場合は、仕訳帳と総勘定元帳を点検して、間違った個所を探し、修正します。

## ② 残高試算表の作成

残高試算表は、各勘定の残高のみを集計して作成される試算表です。

### ● 残高試算表の作成方法

- 手順①** 勘定科目ごとに借方と貸方の合計金額を比較し、合計金額の多い方から少ない方の合計金額を引いて差額(残高)を求めます。
- 手順②** 各勘定科目の借方、貸方のうち、金額の多かった方の欄に差額を記入します。
- 手順③** 借方、貸方それぞれの総合計金額を合計欄に記入します。

現金		借方	勘定科目	貸方
65,000	50,000		現金	
① 65,000 - 50,000 = 15,000 (借方)		② 15,000	当座預金	
	当座預金	② 5,000	売掛金	
15,000	10,000	② 25,000	電子記録債権	
① 15,000 - 10,000 = 5,000 (借方)		② 25,000	買掛金	
	売掛金		借入金	50,000
65,000	40,000		② 資本金	10,000
① 65,000 - 40,000 = 25,000 (借方)			売上	70,000
	電子記録債権		仕入	30,000
25,000			給料	20,000
	仕入	② 30,000	支払利息	10,000
30,000		② 20,000		
	給料	② 10,000		
20,000				
	支払利息			
10,000				
		③ 130,000		③ 130,000

  

買掛金	
30,000	30,000
① 30,000 - 30,000 = 0	
借入金	
	50,000
資本金	
	10,000
売上	
	70,000

③ 一致する

残高試算表と合計試算表には、次のような違いがあります。

合計試算表では借方、貸方の双方に金額が記入されることがあります。しかし、残高試算表では、借方と貸方の差額を記入するため、**合計額の多い方だけ**に金額を記入します。もし、差額が0円になった場合は、空欄のままにしておきます(上記買掛金)。

また、残高試算表も合計試算表と同じく、**借方の総合計額と貸方の総合計額が一致**します。違いが出た場合は、ミスがないか確認します。

### ③ 合計残高試算表の作成

合計残高試算表は、合計試算表と残高試算表を1つの表にまとめたものです。先に合計試算表と残高試算表を作成し、その結果をひとつにまとめて合計残高試算表を作成します。

#### 合計残高試算表

□□年4月30日

借 方		勘定科目	貸 方	
残 高	合 計		合 計	残 高
15,000	65,000	現 金	50,000	
5,000	15,000	当 座 預 金	10,000	
25,000	65,000	売 掛 金	40,000	
25,000	25,000	電子記録債権		
	30,000	買 掛 金	30,000	
		借 入 金	50,000	50,000
		資 本 金	10,000	10,000
		売 上	70,000	70,000
30,000	30,000	仕 入		
20,000	20,000	給 料		
10,000	10,000	支 払 利 息		
130,000	260,000		260,000	130,000

#### ● 合計残高試算表からわかること

例えば、一番上の現金勘定を見ると、借方の合計金額(65,000円)と貸方の合計金額(50,000円)がわかり、同時に残高(15,000円)の確認もできます。